



## 警告のニューズレター「角笛」

発行日：2018年3月発行（第95号）

発行：警告の角笛出版

価格：フリーペーパー

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

### 【目次】

◎巻頭メッセージ：「命に至る門は狭い」 エレミヤ

◎時代を悟る「他宗教の融合・エキュメニカル」 H.F

◎お知らせコーナー 「本の紹介」

### [巻頭メッセージ]

#### 「命に至る門は狭い」 by エレミヤ

マタイ7:13 狭い門からはいりなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからは行って行く者が多いのです。

7:14 いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

7:15 にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは貪欲な狼です。

本日は命に至る門は狭い、という題でメッセージしたいと思います。テキストにそってみていきましょう。

狭い門からはいりなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからは行って行く者が多いのです。

狭い門、命に至る門とは永遠の命に至る門のことです。ですから、ここでは、クリスチャンにとって大事な永遠の命に関して語られているのです。主はかつて命に関してこう語られました。

マタイ16:26 「人は、たとい全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありましょう。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。」

まことの命すなわち永遠の命がもっとも尊いものであることを主は語ったのです。そしてそうであるのに、永遠の命への道や、門は現状狭くなっている、逆に滅びに至る門は広く、道も広くそして、そこからは行って行く者が多い、ことを語られたのです。

しかし何故神の民の間で滅びに至る門が広く、道も広くそしてそこから入って行くものが多いようになってしまったのでしょうか？何故、主イエスの時代において神の民の間でこの命の門は狭くなってしまったのでしょうか？

## 「命に至る門は狭い」 by エレミヤ

私の理解では次の節の以下のことばがそのヒントや鍵となると思えます。

7:15 にせ預言者たちに気をつけなさい。  
彼らは羊のなりをしてやって来るが、  
うちは貪欲な狼です。

その理由は、にせ預言者すなわち、この時代の教師であるパリサイ人や律法学者が、滅びに至る広い門を語るからなのです。それで多くの人々がそこから滅びに入ってしまう、そのように理解できるのです。ペテロの手紙に書かれているように、かつての偽預言者は今の時代の教師に相当します。イエスの時代においては、律法学者、パリサイ人など人々の宗教指導者、みことばの教師にあたる人々こそが聖書でいう偽預言者になっていたのです。

2ペテロ2：1 しかし、イスラエルの中には、にせ預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも、にせ教師が現われるようになります。

<彼らは改宗者を地獄の子とする>

彼ら偽預言者すなわち偽教師である律法学者、パリサイ人たちはどのようにして滅びの広い門、広い道を語り、そして多くの人を滅びに導いたのでしょうか？考えて見ましょう。

彼らが滅びに至る広い門、広い道の教えや教理を語っていたことは以下の主のことばからも明らかです。

マタイ 23:13 しかし、忌わしいものだ。  
偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、人々から天の御国をさえぎっている

のです。自分もはいらず、はいろいろとしている人々をもはいらせないのです。

ここでは民へのみことばの教師であるはずの律法学者、パリサイ人たちが災いとなり、「人々から天の御国をさえぎっている」ことが書かれています。そして天国へ「自分もはいらず、はいろいろとしている人々をもはいらせない」ことが語られています。

ここで明らかであるように、滅びに至る広い門、広い道は彼らによって、民へ広げられているのです。そして、彼らこそがこの主イエスの時代における教師なのです。この時代において集会に集い、神のことばを聞きに集う神の民はこの偽教師により、みな、滅びの広い道へいざなわれてしまうのです。そしてそこから入って行くものが多い、と書かれているように、彼らに惑わされて滅びに入ってしまう人が多かったのです。

<現代の教師たちも命の狭い門よりは、滅びの広い門を語る>

さて、かつて主イエスのときに起きたことは、今の時代の私たちへの教訓であり、警告として書かれたものです。何をいっているのかというと偽善な律法学者、パリサイ人たちの問題は主イエスの時代に一度起きただけのもので、過去に終了した物語でもない、ということです。そうではなく、これらのことばは、教会時代に繰り返され、大いに問題になる偽教師の災いを予表して書かれたものであり、未来への預言なのです。

## 「命に至る門は狭い」 by エレミヤ

今の時代にも否、今の終末の時代においてこそ、偽善なる律法学者、パリサイ人たちの問題は深刻な形で教会において再現すると理解するのが正しいのです。このような私の指摘は見当違いのもの、いいがかりでしょうか？そうとも思えません。たとえば主は終末の日に正しいクリスチャンが艱難に会うことを預言してこのように語りました。

マタイ24:9 そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに合わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。

24:10 また、そのときは、人々が大ぜいつまずき、互いに裏切り、憎み合います。

24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

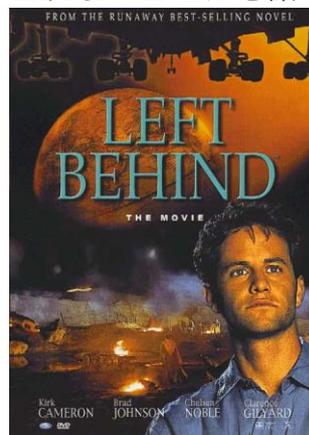
24:20 ただ、あなたがたの逃げるのが、冬や安息日にならぬよう祈りなさい。

24:21 そのときには、世の初めから、今に至るまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような、ひどい苦難があるからです。

24:22 もし、その日数が少なくされなかったら、ひとりとして救われる者はないでしょう。しかし、選ばれた者のために、その日数は少なくされます。

このように主は多くのことばを連ねてその終末の日に関して必要な警告を民に語りました。「そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに合わせ、殺します。」として、我々が苦難に必ず会うこと、そのような日が来ても動揺しないことを踏まえて警告し

たのです。また、「わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。」として、キリストの名のゆえに憎まれても揺るがされないよう、警告を語ったのです。また、「また、そのときは、人々が大ぜいつまずき、互いに裏切り、憎み合います。」として、クリスチャンがつまずき、クリスチャン同士が裏切り、密告する日が来ることを語り、そのような日が到来しても正しく信仰にとどまるべく、警告を与えたのです。また、「しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。」として、その艱難の日、クリスチャンにとって必要なことは忍耐であることを語ったのです。さらに「そのときには、世の初めから、今に至るまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような、ひどい苦難があるからです。」として終末の日に必ずクリスチャンが苦難に会う日が到来することを語ったのです。このようにして主はことばを変え、表現を変え、必ずクリスチャンに到来する苦難の日に備えることを語ったのです。何故主はたびたびこのように警告したのでしょうか？その理由は終末の日に必ず、神の正しい民が苦難にあう日が到来するので、その日一人でも多くのクリスチャンがその日を経て神の前にとどまれるよう、これらのことばを語ったのです。



艱難前説の偽りを語るレフトビハインド

## 「命に至る門は狭い」 by エレミヤ

神の民が決して遭遇しない災いや艱難に関して語ったのではないのです。主は必ず、終末の日に正しい神の民が艱難に遭遇し、多くの人より分けられることを知っていたので、前もって語ったのです。しかし今の時代の偽預言者すなわち、誤った教えに惑わされた教師たちはこれらの全ての主の警告のことばを否定し、意味のないものと変えてしまいました。彼らは、クリスチャンは艱難に会わない、という2段階携拳説、艱難前携拳説を語ります。民の終末への備えを取り除き、彼らがその日、滅びるための道を用意しているのです。彼らこそ、滅びの広い門、広い道を語る偽教師たちなのです。

### <偽教師は命の道を知らない>

主イエスの時代の偽教師の恐るべき誤り、致命的な誤りは、彼ら自身も実は、自分がどうしたら、命の狭い門に入るのか、それを知らない、ということです。それが、天国へ「自分もはいらず、はいろいろとしている人々をもはいらせない」ということばの意味なのです。どうしたら、車を運転できるかを知らない教習所の教師は困ります。また、どうしたら泳げるのかを知らない水泳コーチは困り者です。いや、悪い冗談のようなものですし、現実にはありえません。しかし、こと永遠の命の至ることに関しては、自分が天の御国に入れずさらに民衆を入らせることもできない教師は存在しているのです。それゆえ、滅びに至る門は広いのです。これはまことに恐るべき事態だったのです。

### <今の時代の教師たちも命への道を知らない>

主が、天国へ「自分もはいらず、はいろいろ

としている人々をもはいらせない」とかつて律法学者やパリサイ人たちを非難したとき、それは、今の私たちと何の関係もない、と思うかもしれませんが、そうとは限りません。いや、むしろ今の時代の教師への警告としてこれらのことばは書かれたことを理解すべきです。私の理解では今の時代においても天国へ「自分もはいらず、はいろいろとしている人々をもはいらせない」教師が多いように思っています。

たとえば今の時代の教師は、“一度救われてクリスチャンになったら、決して救いから漏れることも滅びることもない”との偽りの教理を信じています。しかし、聖書は明らかにそのような教理を否定しており、一度命の書に名前を書かれたクリスチャンもその人の行い次第でその名前が消され、永遠の命を失うことを警告しています。以下のとおりです。

黙示録3:5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。そして、わたしは、彼の名をいのちの書から消すようなことは決してしない。わたしは彼の名をわたしの父の御前と御使いたちの前で言い表わす。

ここでは、勝利を得たもの、白い衣を着せられたクリスチャンに対しては、彼らの名前がいのちの書から消されることは決してないことが約束されています。しかし、逆に考えれば、勝利を得られず、衣が汚れて白い衣を着せられず、義の歩みをしないクリスチャンに対しては、一旦書かれた命の書の名前が消されることが暗示されているのです。さらに以下を見てください。

出エジプト 32:32 今、もし、彼らの罪をお赦しくださるものなら——。しかし、もしも、かないませんなら、どうか、あな

## 「命に至る門は狭い」 by エレミヤ

たがお書きになったあなたの書物から、私の名を消し去ってください。」

32:33 すると主はモーセに仰せられた。  
「わたしに罪を犯した者はだれであれ、わたしの書物から消し去ろう。」

ここでも罪を犯すものはせつかく書かれた名前が神の書から消されることが書かれています。ですので、たとえ救われたクリスチャンでも正しく歩まず罪を犯し続けるなら、いのちの書から名前が消される、ということが聖書の正しい教えなのです。教師がこの点に関して間違った広い道を語るなら、語る自分もそしてその教えを受けた人もともに滅びに入る可能性があります。

### <改宗者をゲヘナの子とする>

さらに主はその時代の偽教師がせつかく信じた人々をあらゆることか、ゲヘナ、地獄へ直行する信者へ育て上げることを語りました。以下の通りです。

マタイ 23:15 忌わしいものだ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。改宗者をひとりつくるのに、海と陸とを飛び回り、改宗者ができる、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にするからです。

ここでは、律法学者、パリサイ人たちが一生懸命神のために働き、海と陸とを飛び回りそして改宗者を作ることが書かれています。改宗者を作るとは今まで異邦の偶像を拝んでいた、神を認めなかった人が神を信じ、聖書の教えに従うようになることです。このことに何の問題もないようですが、しかし主によるなら、問題があります。その肝心の改宗者が聖書や神の教えと全然異なる、滅びの教え、滅びに至る広い門を教え込まれ、結果としてそのせつかくの改

宗者は、死後天国ならぬ、ゲヘナ、地獄へ直行してしまう、という問題が起きるのです。しかも彼ら偽善な律法学者、パリサイ人たちがことば巧みに論理を尽くし、聖書のことばを引用しながら、滅びの広い道、滅びに至る教理を語ります。それでみな、すっかり信じ込み、結果として多くの人が滅びの道へ入っていくようになるのです。悪い冗談みたいな話ですが、聖書に書かれているなら、それは本当の話です。そしてかつての主イエスの時代と同じように、今の時代の偽教師も、信じた人々を“自分より倍も悪いゲヘナの子”にしています。たとえば、今の時代の偽善的な牧師、教師はカソリックとの合同、エキュメニカルを推し進めています。彼らは盲人なので、カソリックがどのように異端的な教会なのかを見ていません。しかし、カソリックは”聖書にも間違いがある”と公言し”教会には間違いがない“としています。法王崇拜、マリヤ崇拜の教会カソリックを神のことばの上におくトンデモ異端教なのです。彼らに従い、カソリックを受け入れる人々は、いずれ滅びの広い門に入り、“倍まさる地獄の子”となるでしょう。結論として彼ら偽教師の災いのため、今の時代の教会においても滅びの門、滅びの道は広いのです。私たちは教えを吟味し、命の狭い門、狭い道を何とか探し当てることができるよう求めましょう。何故ならそれを「それを見いだす者はまれ」だからです。—以上—



聖書には誤りがあると語るカソリック

主イエスは時代を見分けなさい(ルカ12:56~57)といわれました。各人が、今の時代に教会で何が起きているかを知り、時代を見分け、何が正しいかを判断していく必要があります。

幾度か角笛で述べましたが、今はエキュメニカルが非常に進んでいる時代といいでしょう。昨年ルターの宗教改革500年の記念行事が行われ、多くのプロテスタント教派は、袂を分かったはずのローマカトリックと協調し合同の行事を行っています。マリヤを崇拝するカトリックとは教理的に相いれないにもかかわらずプロテスタント教会は協調と相互理解こそ重要としているのです。そこでは人間的な博愛精神中心で、神の真理は置き去りになっています。そしてエキュメニカル運動はそれだけにとどまりません。

これも以前の記事で述べましたが、イスラム教とキリスト教を混合させた「クリスラム」という働きがあります。キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の合同の礼拝も多く行われ、同じ神を礼拝しているという認識のもと、相互理解を深めています。

2017/2/17christianpost宗教指導者400人宗教的寛容を求め「ワシントン宣言」に署名。キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の指導者400人が2月7日宗教的少数派や宗教的コミュニティの周縁化に対して世界的保護を求める「ワシントン宣言」を発表した。ワシントン条約は団結や宗教的自由の促進を求め、著名な宗教的人物で構成される複合宗教団体の設置。コミュニティや世界の多様性を最大限に反映させるための異宗教間委員会の設置を求めている。宣言は米首都ワシントンで2日間にわたり開催された「共通の善のための善行同盟」の会議で出された。その中において「相互に共通する価値観相互は、相互の相違

よりも重要である。我々は深い神学的理解から生まれる確信によってこの取り組みを先導する。」と述べられています。

ここでは異宗教間で互いに理解し協力する重要性が述べられています。博愛主義です。しかし、キリスト教で最も大切な、神と人との唯一の仲介者である主イエスが全く無視されています。イエスをないがしろにする流れが教会で進んでいるのです。ユダヤ教イスラム教キリスト教の神が同一であり互いに協調できるという考え方がキリスト教会に入り込んでいるのです。しかし第一ヨハネ4:3では、「イエスを告白しない霊はどれ一つとして神から出たものではありません。それは反キリストの霊です。」とあります。主イエスを神と告白しないものは違う霊、反キリストなのだ聖書は語っています。

LighthouseTrailでは、他宗教とキリスト教を混ぜようとしている試みが進んでいることを警告しています。キリスト教とイスラム教を結合するクリスラムやキリスト教とヒンズー教、仏教、シャーマニズムを混ぜようとする試みがあると警告しています。(2017/3/23)

そして今多くの所で、キリスト教と他の宗教との対話や合同の祈りが行われています。今はキリスト教とは全く異質な東洋の宗教との対話、協調も活発に行われている時代なのです。

2018/2/27 ChristianToday「3月に浪江町で合同祈願式、宗教者ら50人参加へ3・11の犠牲者追悼」キリスト教や神道、仏教、イスラム教などの宗教指導者ら50人が来月14日、東日本大震災の犠牲者らと追悼し、復興を願って祈りをささげる。

世界宗教平和会議(WCRP)日本委員会が、震災発生翌年の2012年から行っている活動で、当日は各宗教宗派による祈りがささげられるはか、地震発生時刻の午後2時46分には参加者全員で黙祷をささげる。

2017/11/13ChristianToday「韓国でキリスト教と儒教の宗教間対話、WCCが初開催される」世界教会協議会(WCC)は10月27～31日、韓国の首都ソウルとアンドン市でキリスト教と儒教の宗教間対話集会を開催した。WCC総幹事代行でエキュメニカル研究所所長のイオアン・サウカ神父は「WCCはキリスト教と儒教の宗教間対話に初めてかかわっています。私たちが心を開いて互いを受け入れる最初の日です」と述べた。またWCCの所属教会の中でも特に東アジアの多くの教会はすでに日ごろから儒教と対話を行っている」と強調している。

ローマ教皇庁諸宗教間対話評議会(PCID)議長のジャンルイ・トーラン枢機卿も「孔子もイエス・キリストも、そしてその信奉者たちも、人間の歴史に変化をもたらしてきたのですから、物事を変えていくことはできると確信しています。この世界に新しい希望をもたらすために、それぞれの霊的宝を再発見するのは、私たち私次第なのです」と語った。

東洋の宗教である儒教との対話で、孔子と主イエスは同じ位置に置かれています。そして互いに受け入れあい、お互いの霊的な宝を再発見するとあります。聖霊と異教の悪霊的な働きとが同じ扱いになっているのです。

主イエスは異なる宗教に対して相互理解と協調を語られたのでしょうか。聖書で使徒たち

は、他宗教と協調や相互理解を進めていたのでしょうか。パウロは異教徒伝道の際に、異教と相互理解したのでしょうか。否。決してそのようなことはしていません。真理をかたり、異教徒に対して、悔い改めて唯一の救い主であるイエスを信じるようにはっきりと宣言していました。

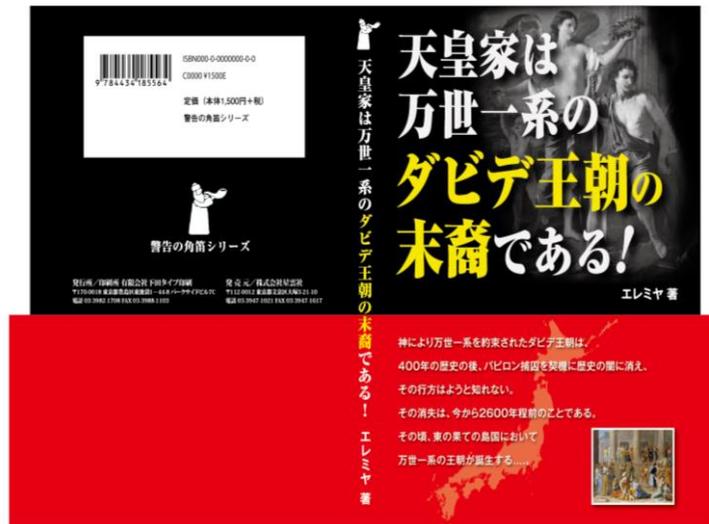
**マタイ5；13あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩気をなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。**

塩は腐敗を防ぐ働きをするように、キリスト者は世の中において、神の民として聖い塩の働きをするように召されています。しかし、現在教会は、他の宗教との融合や協調により、真理から離れ、完全に塩気をなくした存在になっているのではないのでしょうか。時を悟らねばなりません。



## 他宗教との一致

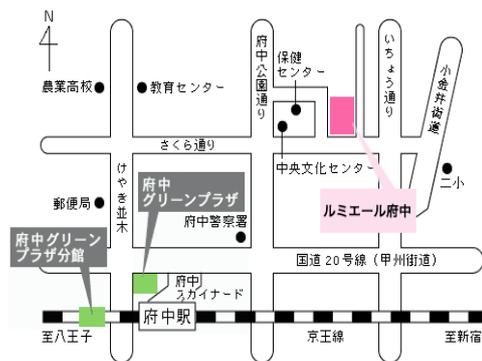
●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。  
 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255  
 mail:truth216@nifty.com

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30  
 午後 14:00-16:00  
 場所:東京都京王線府中駅10分、ルミエール(市民会館)  
 府中市府中町 2-24 (tel:042-361-4111)  
 1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、  
 「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。  
 どなたでも来会歓迎、入場無料です。



★教会のHPもあります。

ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。  
 尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>